

「自分は大丈夫」自己判断していませんか？

健診結果の「要精密検査」や「要治療」は身体からのSOS。

「自覚症状がないから大丈夫」はとても危険！

見つかったSOSは放置せず、早期に再検査・治療が大切です。

身体のSOSを放置し、重症化してしまった方の**実例**をご紹介します

健診結果に「要精密検査」の項目があったAさん。ところが医療機関を受診せず、翌年以降も「要精密検査」と判定され続けました。



→ そんな事が何年も続いていたある日のこと、Aさんはお仕事中に突然倒れ、緊急搬送されてしまいました。脳梗塞を発症し、声をかけてもろれつが回らない状態でした。



→ その後長期入院、体に麻痺が残り、お仕事も長期休暇となりました。もしこれが階段の上や高所などで起きていたとしたら、もっと深刻な事態に繋がっていたかもしれません。



身体のSOSに気づいたら、早めに受診しましょう。

早期受診にはいいことがたくさんあります。

治療方法の選択肢が広がる

病気の進行を抑えることができる

完治の可能性が高まる

⇒医療費や治療期間を最小限に抑えることも！
重症化すればするほど医療費は高くなります

医療費が高くなると
保険料率にも
影響するよ！



**「後でいい」で後悔しないために、
早めにお医者さんに診てもらいましょう**

健康診断の結果で、〔要精密検査〕、〔要治療〕の判定があった方へ

所属・部署：_____

令和 年 月 日

氏名：_____ 様

健康診断の結果、以下の項目に**精密検査または、治療が必要である**と判定されました。
つきましては、**早急に医師の診察を受け、**_____月_____日までに担当者へ
再検査等の報告をしてください。

要精密検査・要治療の判定があった検査項目					
	血圧		心電図		視力・聴力
	脂質		肝機能		糖代謝(血糖)
	血液一般		尿検査		腎機能
	胸部レントゲン検査		胃部検査		便潜血反応検査
	その他の項目 (_____)				

担当者：_____

再検査等の結果報告

以下、ご本人様をご記入ください。



氏名：_____

受診日：_____

受診結果(該当するものに○)

1. 異常なし
2. 経過観察 … A. 次回健診まで様子を見てよい
B. (_____)か月後に再検査予定
3. さらに精密検査が必要
4. 治療が必要 または 治療を開始した
5. その他 { _____ }

記入後、担当者へ提出してください。

この報告書は従業員の健康管理の目的のみに使用し、その他の目的には一切使用しません。